

5.1.36	一回用鍼; 一次性鍼	disposable needle	一回用鍼		使用後廃棄する、使い捨ての鍼。
5.1.36	一回用鍼; 一次性鍼	disposable needle	一次性鍼		使用後廃棄する、使い捨ての鍼。
5.1.37		infant needle	小児鍼		小児患者の鍼療法用の鍼。
5.1.38		infant acupuncture	小児鍼法		小児患者用の鍼療法
5.1.39		Sa-am acupuncture	舎巖鍼法		舎巖が創始した鍼療法の流派。五行学説および母子相生・相克原則を、経穴の選択と鍼処置に適用することを特徴とする。
5.1.40		eight constitutions	八體質鍼		Kwon Do-wonが創始した鍼療法の流派。八體質の理論に基づく。
5.1.41		microsystem acupuncture	微鍼系統		特定の部位におけるさまざまなタイプの鍼療法の総称。頭鍼療法、耳鍼療法、鼻鍼療法、手鍼療法、足鍼療法など。
5.1.42	頭鍼; 頭皮 鍼	scalp acupuncture	頭鍼		頭皮に位置する特定のラインにおける鍼療法。
5.1.42	頭鍼; 頭皮 鍼	scalp acupuncture	頭皮鍼		頭皮に位置する特定のラインにおける鍼療法。
5.1.43		scalp acupuncture	頭鍼療法		微鍼系統の1つ。頭に位置する特定のラインに、治療のために鍼刺入する。
5.1.44		facial	面鍼		顔に位置する特定穴における鍼療法。
5.1.45		ear acupuncture	耳鍼		耳介に位置する経穴における鍼療法。auriculo-acupunctureとも呼ぶ。
5.1.46		ear acupuncture therapy	耳鍼療法		微鍼系統の1つ。耳介に位置する経穴に、治療のために鍼刺入する。
5.1.47		nose acupuncture	鼻鍼		鼻に位置する特定穴における鍼療法。
5.1.48		nose acupuncture therapy	鼻鍼療法		微鍼系統の1つ。鼻に位置する特定穴に、治療のために鍼刺入する。
5.1.49		hand	手鍼		手に位置する特定穴における鍼療法。
5.1.50		hand acupuncture	手鍼療法		微鍼系統の1つ。手に位置する特定穴に、治療のために鍼刺入する。
5.1.51	手指鍼術; 高麗手鍼療法	hand-finger acupuncture technique	手指鍼術		微鍼系統の1つ。手と指に位置する特定穴に対する鍼刺入が特徴。Koryo hand acupuncture therapyとも呼ばれる。
5.1.51	手指鍼術; 高麗手鍼療法	hand-finger acupuncture technique	高麗手鍼療法		微鍼系統の1つ。手と指に位置する特定穴に対する鍼刺入が特徴。Koryo hand acupuncture therapyとも呼ばれる。
5.1.52		foot acupuncture therapy	足鍼療法		微鍼系統の1つ。足に位置する特定穴に対する鍼刺入が特徴。
5.1.53	穴; 腧穴; 穴位	acupuncture point	穴		鍼療法において鍼を刺入および操作する部位。
5.1.53	穴; 腧穴; 穴位	acupuncture point	腧穴		鍼療法において鍼を刺入および操作する部位。
5.1.53	穴; 腧穴; 穴位	acupuncture point	穴位		鍼療法において鍼を刺入および操作する部位。
5.1.54		meridian point	経穴		正経、督脈または任脈にある、鍼治療を行う部位。
5.1.55	経外奇穴; 奇穴	extra point	経外奇穴		経絡上にはない経穴。non-meridian point としても知られる。
5.1.55	経外奇穴; 奇穴	extra point	奇穴		経絡上にはない経穴。non-meridian point としても知られる。
5.1.56		specific point	特定穴		十四経絡に属する、特定の治療効果を有する経穴。
5.1.57		five transport points	五輸穴		肘および膝よりも遠位に位置する十二経絡の5つの特定穴。すなわち、井穴、榮穴、兪穴、経穴および合穴。
5.1.58		well point	井穴		五輸穴の1つ。手指または足指の遠位末端に位置する。経気が発生ところである。
5.1.59		brook point	榮穴		五輸穴の1つ。ほとんどが、中手指節関節または中足指節関節よりも遠位に位置する。経気が溜まる場所である。
5.1.60		stream point	輸穴		五輸穴の1つ。ほとんどが、中手指節関節または中足指節関節よりも近位に位置する。経気が注ぐところである。
5.1.61		river point	経穴		五輸穴の1つ。下肢および前腕に位置する。
5.1.62		sea point	合穴		五輸穴の1つ。ほとんどが肘または膝の近傍に位置する。川が海に注ぐがごとく、経気が体の深部に入るところである。
5.1.63		source point	原穴		内臓の元気が流出し、通過し、留まる経穴。
5.1.64		eight meeting points	八會穴		臓・腑・気・血・筋・脈・骨・髓の気がそれぞれ集まる、8つの重要な経穴。
5.1.65		crossing point	交會穴		2つ以上の経絡が交わる経穴。
5.1.66		confluence points of the eight vessels	八脈交會穴		正経が奇経八脈とお互いに通じ合っている経穴。
5.1.67	六腑下合 穴; 下合穴	lower sea points of the six bowels	六腑下合穴		足三陽経上の特定穴。六腑と合する。
5.1.67	六腑下合 穴; 下合穴	lower sea points of the six bowels	下合穴		足三陽経上の特定穴。六腑と合する。
5.1.68	阿是穴; 天 應穴	ouch point	阿是穴		特定の名前や明確な位置が決められていない経穴。その位置は痛みを感じたり、その他の異常な反応が起きることにより決められる。ashi pointとしても知られる。
5.1.68	阿是穴; 天 應穴	ouch point	天應穴		特定の名前や明確な位置が決められていない経穴。その位置は痛みを感じたり、その他の異常な反応が起きることにより決められる。ashi pointとしても知られる。

5.1.69	郄穴；郄穴	cleft point	郄穴	経気が深く集まる経穴。
5.1.69	郄穴；郄穴	cleft point	郄穴	経気が深く集まる経穴。
5.1.70		connecting point	絡穴	経脈が絡脈と通じているところの経穴。
5.1.71	募穴；腹募穴	alarm point	募穴	それぞれの内臓の気が集まる、胸部または腹部の特定穴。
5.1.71	募穴；腹募穴	alarm point	腹募穴	それぞれの内臓の気が集まる、胸部または腹部の特定穴。
5.1.72	俞穴；背俞穴	transport point	俞穴	内臓の気が注入される、背中の特定穴。
5.1.72	俞穴；背俞穴	transport point	背俞穴	内臓の気が注入される、背中の特定穴。
5.1.73		ear point	耳穴	耳介に位置する経穴。
5.1.74		five phase points	五行穴	肘または膝下の、それぞれの十二経絡上に位置する一連の5つの経穴。五行学説と関連がある。
5.1.75		qi thoroughfare	氣街	これに沿って気が集まり流れる経路。
5.1.76		ryodo points	良導点	低電圧の電気回路を設置した時、周囲の皮膚よりも電気抵抗が顕著に低い経穴または皮膚の狭い領域。
5.1.77		special characteristics of acupuncture points	輸穴特異性	経穴の特異的な作用および治療効果
5.1.78	経穴部位；輸穴定位法	acupuncture point location	経穴部位	経穴の位置(の決定法)
5.1.78	経穴部位；輸穴定位法	acupuncture point location	輸穴定位	経穴の位置(の決定法)
5.1.78	経穴部位；輸穴定位法	acupuncture point location	輸穴定位法	経穴の位置(の決定法)
5.1.79	体表解剖標誌定位法；自然標誌定位法	location of points by anatomical landmarks	体表解剖標誌定位法	体表のさまざまな解剖学的標識点による経穴の位置決定法。
5.1.79	体表解剖標誌定位法；自然標誌定位法	location of points by anatomical landmarks	自然標誌定位法	体表のさまざまな解剖学的標識点による経穴の位置決定法。
5.1.80	骨度折量定位法；骨度分寸定位法	location of points by bone standard	骨度折量定位法	特定の長骨を等分した部分の長さ、または2つの解剖学的標識点間の距離を1寸として、経穴の位置の測定単位とした定位法。location of points by skeletal standardと同義。
5.1.80	骨度折量定位法；骨度分寸定位法	location of points by bone standard	骨度分寸定位法	特定の長骨を等分した部分の長さ、または2つの解剖学的標識点間の距離を1寸として、経穴の位置の測定単位とした定位法。location of points by skeletal standardと同義。
5.1.80	骨度折量定位法；骨度分寸定位法	location of points by bone standard	骨度法	特定の長骨を等分した部分の長さ、または2つの解剖学的標識点間の距離を1寸として、経穴の位置の測定単位とした定位法。location of points by skeletal standardと同義。
5.1.81		bone proportional cun	骨度分寸	特定の長骨を等分した部分の長さを1寸として測定単位とした定位法。skeletal proportional cunと同義
5.1.82		location of point by finger cun	指寸定位法	患者の指の幅を測定単位とした、経穴の位置決定法。
5.1.83		body cun	同身寸	経穴の位置決定のための長さ測定単位。患者の体の特定の部位を、等しい長さに一定に分割したもの。簡単にB寸とも呼ばれる。
5.1.84		finger cun	手指同身寸	患者の指の幅を測定の単位としたもの。簡単にF寸とも呼ばれる。
5.1.85		middle finger cun	中指同身寸	患者の中指を曲げたときの第1関節と第2関節のしわの間の長さを1寸とした測定単位。
5.1.86		thumb cun	拇指同身寸	患者の親指の指関節の幅を1寸とした測定単位。
5.1.87	横指同身寸；一夫法	finger-breadth cun	横指同身寸	中指の近位の指節間のしわの高さの所でくっつけた、4本の指(人差し指、中指、薬指および小指)の幅を3寸とした測定単位。
5.1.87	横指同身寸；一夫法	finger-breadth cun	一夫法	中指の近位の指節間のしわの高さの所でくっつけた、4本の指(人差し指、中指、薬指および小指)の幅を3寸とした測定単位。
5.1.88		selection of points according to pattern/	對證選穴	選穴の一般原則。鍼療法で用いる経穴を証に基づいて決定すること。
5.1.89	配穴；配穴法	point combination	配穴	望ましい治療効果を達成するために、鍼療法用の経穴を組み合わせること。
5.1.89	配穴；配穴法	point combination	配穴法	望ましい治療効果を達成するために、鍼療法用の経穴を組み合わせること。
5.1.90		superior-inferior point	上下配穴法	上肢の経穴を下肢の経穴と組み合わせる配穴法。
5.1.91		left-right point combination	左右配穴法	特定の経脈の両側の経穴を選んで配穴する方法。

5.1.92	前後配穴法；腹背配穴法；腹背陰陽配穴法	anterior-posterior point combination	前後配穴法		体幹の前方にある経穴と、後方にある対応する経穴とを組み合わせる配穴法。
5.1.92	前後配穴法；腹背配穴法；腹背陰陽配穴法	anterior-posterior point combination	腹背配穴法		体幹の前方にある経穴と、後方にある対応する経穴とを組み合わせる配穴法。
5.1.92	前後配穴法；腹背配穴法；腹背陰陽配穴法	anterior-posterior point combination	腹背陰陽配穴法		体幹の前方にある経穴と、後方にある対応する経穴とを組み合わせる配穴法。
5.1.93		point combination of the same	本経配穴法		該当する経脈の経穴のみを選択する配穴法。
5.1.94	表裏配穴法；表裏経配穴法	exterior-interior point combination	表裏配穴法		経脈の表裏関係に基づく配穴法。
5.1.94	表裏配穴法；表裏経配穴法	exterior-interior point combination	表裏経配穴法		経脈の表裏関係に基づく配穴法。
5.1.95		source-connecting point	原絡配穴法		対応する経絡の原穴を、表裏に関連した経絡の絡穴と組み合わせる配穴法。
5.1.96		selection of adjacent points	近部取穴		罹患部位に近い経穴を選択すること。
5.1.97		selection of local points	局部取穴		罹患部位の経穴を選択すること。
5.1.98		selection of distant points	遠道取穴		罹患部位から遠い経穴を選択すること。
5.1.99		needle insertion	進鍼		皮膚に鍼尖を一定の深さで刺入すること。
5.1.100		needle insertion method	進鍼法		皮膚に鍼を刺入する技術。
5.1.101		double-handed needle insertion	雙手進鍼法		右手と左手を一緒に使って鍼を刺入する技術。
5.1.102		finger-nail-pressing needle	指切進鍼法		両手で行う鍼刺入技術の1つ。1つの爪で圧力を加える。
5.1.103		hand-holding needle insertion	挾持進鍼法		両手で行う鍼刺入技術の1つ。押手の親指と人差し指で、鍼体を包み込んだ滅菌済みコットンボールを持つ。
5.1.104		pinching needle insertion	提捏進鍼法		両手で行う鍼刺入技術の1つ。鍼を刺入し、その間にもう一方の手で肉をつまんで持ち上げる。
5.1.105		skin-spreading needle insertion	舒張進鍼法		両手で行う鍼刺入技術の1つ。皮膚を引っ張って鍼を刺入しやすくする。
5.1.106		single-handed needle insertion	單手進鍼法		片手のみで行う鍼刺入技術。
5.1.107		insertion of needle with tube	管鍼進鍼法		鍼のガイドとして細い管を用いる鍼刺入技術。
5.1.108		needling hand	刺手		施術者の、鍼を持ち刺入する方の手。
5.1.109		pressing hand	押手		施術者の、鍼を刺す部位を1〜2本の指で圧迫して鍼を刺入しやすくする方の手。
5.1.110		hand-pressing method	押手法		鍼刺入に合わせて、鍼療法部位の近傍を指で圧迫する鍼刺入技術。
5.1.111		angle of needle insertion	鍼刺角度		鍼を刺入する時の、鍼体と、鍼を刺入する皮膚との角度。
5.1.112		perpendicular insertion	直刺		皮膚に対して90°の角度で鍼を刺入すること。
5.1.113	横刺；平刺；沿皮刺	transverse insertion	横刺		皮膚に対して15°の角度で鍼を刺入すること。
5.1.113	横刺；平刺；沿皮刺	transverse insertion	平刺		皮膚に対して15°の角度で鍼を刺入すること。
5.1.113	横刺；平刺；沿皮刺	transverse insertion	沿皮刺		皮膚に対して15°の角度で鍼を刺入すること。
5.1.114		oblique insertion	斜刺		皮膚に対して45°の角度で鍼を刺入すること。
5.1.115	鍼感；鍼響	needle sensation	鍼感		鍼療法中に患者が感じる、経穴周囲の痛みやしびれ、膨満感、だるさ、あるいは電気ショックのような感じのこと。
5.1.115	鍼感；鍼響	needle sensation	鍼響		鍼療法中に患者が感じる、経穴周囲の痛みやしびれ、膨満感、だるさ、あるいは電気ショックのような感じのこと。
5.1.116		qi arrival	氣至		施術者が鍼療法中に感じる、気が到達した感じのこと。
5.1.117		obtaining qi	得氣		鍼療法により、患者には経穴周囲の痛みやしびれ、膨満感、だるさ、あるいは電気ショックのような感覚を起こさせ、施術者には鍼周囲の緊張した感覚を起こさせること。
5.1.118		awaiting qi	候氣		刺入後に鍼感を引き起こす操作を行うこと。
5.1.119		hastening qi	催氣		鍼療法中に鍼感の到達を促進すること。
5.1.120		meridian phenomenon	経絡現象		経絡に沿って現れる、生理的・病的現象のこと。
5.1.121		course of the meridian	経脈循行		経絡の方向および経路。

5.1.122		transmission of sensation along meridian	循經感傳		経絡に沿った鍼感(痛み、しびれ、膨満感およびだるさの感じ)の伝達。
5.1.123		latent meridian transmission	隠性感傳		特定の付加的な刺激の後にのみ現れる経絡現象。
5.1.124		meridian treatment	経絡治療		関連した経絡に刺激を与えることにより行われるすべての治療。meridian therapyとしても知られる。
5.1.125	行鍼; 運鍼	needle manipulation	行鍼		望ましい効果を起こすために、刺入後に鍼を操作すること。
5.1.125	行鍼; 運鍼	needle manipulation	運鍼		望ましい効果を起こすために、刺入後に鍼を操作すること。
5.1.126		twirling method	捻轉法		鍼をくるくる回す鍼の操作。
5.1.127		lifting-thrusting method	提插法		鍼を持ち上げて押し込む鍼の操作。
5.1.128		handle-scraping method	刮柄法		鍼感を促進する補助的手段として、指の爪で鍼柄をこする鍼の操作。
5.1.129		handle-twisting method	搓柄法		鍼感を促進する補助的手段として、鍼柄をねじる鍼の操作。
5.1.130		handle-wagging method	搖柄法		鍼感を促進する補助的手段として、鍼柄を振動させる鍼の操作。
5.1.131		handle-flicking method	彈柄法		鍼感を促進する補助的手段として、鍼柄をはじく鍼の操作。
5.1.132		trembling method	震顫法		鍼感を促進する操作。施術者が、高頻度で小さな振幅で鍼を持ち上げ、空っ込み、ひねって、鍼を振動させる。
5.1.133		massage along meridian	循法		気を促進する方法。鍼刺入後に 施術者が経脈に沿って指でマッサージを行う。
5.1.134		supplementation and draining	補瀉		低下した機能を補法で活性化させて正常に回復させながら、瀉法で病邪を排除し、活動亢進を正常に回復させること。reinforcement and reduction と同義
5.1.135		twirling supplementation and draining	捻轉補瀉		気が得られた後、鍼を回すことにより、補瀉を行うこと。twirling reinforcement and reduction と同義。
5.1.136		twirling supplementation and draining method	捻轉補瀉法		補瀉を行うために、鍼を回す操作。twirling reinforcement and reduction method と同義。
5.1.137		lifting-thrusting supplementation and draining	提插補瀉		気が得られた後、鍼を持ち上げて押し込むことにより補瀉を行うこと。lifting-thrusting reinforcement and reduction と同義。
5.1.138		lifting-thrusting supplementation and draining method	提插補瀉法		補瀉を行うために、鍼を持ち上げて押し込む操作。lifting-thrusting reinforcement and reduction method と同義
5.1.139		directional supplementation and draining	迎隨補瀉		経絡の経路と同じ方向または逆の方向に鍼を刺入することで行う補瀉。directional reinforcement and reduction と同義。
5.1.140		directional supplementation and draining method	迎隨補瀉法		補瀉を行うために、経絡の経路と同じ方向または逆の方向に鍼を向ける操作。directional reinforcement and reduction method と同義。
5.1.141	疾徐補瀉; 徐疾補瀉	quick-slow supplementation and draining	疾徐補瀉		鍼の刺入と抜去の相対速度を変えることにより行う補瀉。quick-slow reinforcement and reduction と同義。
5.1.141	疾徐補瀉; 徐疾補瀉	quick-slow supplementation and draining	徐疾補瀉		鍼の刺入と抜去の相対速度を変えることにより行う補瀉。quick-slow reinforcement and reduction と同義。
5.1.142	疾徐補瀉法; 徐疾補瀉法	quick-slow supplementation and draining method	疾徐補瀉法		補瀉を行うために、鍼の刺入と抜去の相対速度を変える操作。quick-slow reinforcement and reduction method と同義。
5.1.142	疾徐補瀉法; 徐疾補瀉法	quick-slow supplementation and draining method	徐疾補瀉法		補瀉を行うために、鍼の刺入と抜去の相対速度を変える操作。quick-slow reinforcement and reduction method と同義。
5.1.143		respiratory supplementation and draining	呼吸補瀉		患者の呼吸に合わせて鍼を刺入・抜去することで達成される補瀉。respiratory reinforcement and reduction と同義。
5.1.144		respiratory supplementation and draining method	呼吸補瀉法		補瀉を行うために、患者の呼吸に合わせて鍼を刺入・抜去する操作。respiratory reinforcement and reduction method と同義。
5.1.145		open-closed supplementation and draining	開闔補瀉		鍼の抜去後、刺入穴を開けるまたは閉じることにより行う補瀉。open-closed reinforcement and reduction と同義。

5.1.146		open-closed supplementation and draining method	開闔補瀉法		補瀉を行うために、鍼の抜去後、刺入穴を開けるまたは閉じる操作。open-closed reinforcement and reduction methodと同義。
5.1.147		neutral supplementation and draining	平補平瀉		都合の良い角度で、同じ振幅または回転で均等に持ち上げ、押し込むことによる平等な補瀉。neutral reinforcement and reductionと同義。
5.1.148		neutral supplementation and draining method	平補平瀉法		平等に補法と瀉法を行う鍼操作の1つ。実と虚が組み合わさっている症例または虚実がはっきりしない症例に適用される。neutral reinforcement and reduction methodと同義。
5.1.149	燒山火(法)	mountain-burning fire	燒山火		局所的なまたは全身の強い熱感を強化するために行う複合的な鍼操作。
5.1.149	燒山火(法)	mountain-burning fire	燒山火法		局所的なまたは全身の強い熱感を強化するために行う複合的な鍼操作。
5.1.150	透天涼(法)	heaven-penetrating cooling (method)	透天涼		局所的なまたは全身の涼感を強化するために行う複合的な鍼操作。
5.1.150	透天涼(法)	heaven-penetrating cooling (method)	透天涼法		局所的なまたは全身の涼感を強化するために行う複合的な鍼操作。
5.1.151		mother-supplementing/reinforcing child-draining/reducing method	補母瀉子法		治療する経絡および輸穴の五行属性にしたがって母子関係が決定され、経穴を、虚ならば母を補い、実ならば子を瀉するという法則に基づいて選択する治療法。mother-reinforcing child-reducing methodと同義。
5.1.152		midnight-midday ebb flow	子午流注		古代の鍼療法理論の1つ。経絡の気と血の状態および異なる経穴の感受性が時間によって異なり、最も有効な鍼刺入の時間が天干地支の観点から算出できるといふ概念を維持している。
5.1.153		midnight-midday ebb flow acupuncture	子午流注鍼法		子午流注の算出に従って行う鍼療法
5.1.154	納甲法; 納干法	day-prescription of points	納甲法		臓および経絡に対応した天干に従って、特定の日に開く経穴を決定すること。
5.1.154	納甲法; 納干法	day-prescription of points	納干法		臓および経絡に対応した天干に従って、特定の日に開く経穴を決定すること。
5.1.155	納子法; 納支法	hour-prescription of points	納支法		臓と一致した、2時間ごとに開く経穴を決定すること。
5.1.155	納子法; 納支法	hour-prescription of points	納子法		臓と一致した、2時間ごとに開く経穴を決定すること。
5.1.156		eightfold method of the sacred tortoise	靈龜八法		八卦、九宮、天干および地支の変化に従い、八脈交会穴を選択する方法。
5.1.157		needling method	刺法		体の特定の部位を鍼で刺激することにより、経絡の気と血を活性化し、体の機能を調節する、伝統的な治療法。
5.1.158		five needling (methods)	五刺		五臓の病的変化に基づく5つの古代の鍼技術の総称。すなわち、半刺、豹文刺、関刺、合谷刺および輪刺。
5.1.159		half needling	半刺		五刺の1つ。浅く刺入し、速やかに抜去するのが特徴。shallow needlingとも呼ばれる。
5.1.160		leopard-spot needling	豹文刺		五刺の1つ。経穴の周囲に三稜鍼を刺すのが特徴。
5.1.161		joint needling	關刺		五刺の1つ。関節付近の腱を刺す。
5.1.162		join valley needling	合谷刺		五刺の1つ。罹患領域の筋肉に、ニワトリの鉤爪のように斜方向に左右に鍼を直接刺すことにより、筋肉のしびれと疼痛を治療する。multi-direction needlingとも呼ばれる。
5.1.163		transport point needling	輸刺		古代の鍼療法。骨に向かって深く垂直に刺入するのが特徴。
5.1.164		nine needling (methods)	九刺		9タイプの証の治療に用いられる9つの古代の鍼技術の総称。すなわち、輪刺、遠道刺、経刺、絡刺、分刺、大瀉刺、毛刺、粹刺および
5.1.165		distant needling	遠道刺		古代の鍼刺入法の1つ。上半身の疾患部位から遠い、下半身の経絡に沿って、鍼を刺す経穴を選択する。
5.1.166		meridian needling	經刺		古代の鍼刺入法の1つ。結節や血癆が現れている経絡の部位に鍼を刺す。
5.1.167		collateral	絡刺		古代の鍼刺入法の1つ。小さな血管を三稜鍼で刺すことにより瀉血
5.1.168		intermuscular needling	分刺		古代の鍼刺入法の1つ。筋肉を直接刺す。
5.1.169		great drainage needling	大瀉刺		古代の鍼刺入法の1つ。膿および血を切開し排出する。
5.1.170		skin needling	毛刺		古代の鍼刺入法の1つ。皮膚を浅く刺すのが特徴。
5.1.171		red-hot needling	粹刺		古代の鍼刺入法の1つ。赤く焼いた鍼で速やかに刺す。
5.1.172		contralateral meridian	巨刺		古代の鍼刺入法の1つ。罹患した側と対側の経絡の経穴を刺す。opposing needlingとも呼ばれる。
5.1.173		contralateral collateral	繆刺		古代の鍼刺入法の1つ。罹患した側と対側の絡脈に鍼を刺すのが特徴。contralateral insertionとも呼ばれる。
5.1.174		paired needling	偶刺		古代の鍼刺入法の1つ。一対の鍼(1本は罹患部位の前方、もう1本は後方)を刺す。

5.1.175		successive trigger needling	報刺		古代の鍼刺入法の1つ。痛点に直接鍼を刺し、周囲の他の痛点を探して、連続して鍼を刺入する。
5.1.176		relaxing needling	恢刺		古代の鍼刺入法の1つ。横から鍼を刺入し、次に収縮した筋肉に別の方向から刺して、弛緩させる。
5.1.177		triple needling	齊刺		古代の鍼刺入法の1つ。直鍼刺を1回行い、その横からさらに2本の鍼を刺入する。
5.1.178		shallow surround needling	揚刺		古代の鍼刺入法の1つ。経穴の中央に鍼を刺入し、さらに経穴の中央の前後左右に別の鍼を刺入する。
5.1.179		perpendicular needling	直鍼刺		古代の鍼刺入法の1つ。持ち上げた皮膚の真下に鍼を刺入する。
5.1.180		short thrust needling	短刺		古代の鍼刺入法の1つ。鍼柄を穏やかに振動させながら骨に向かって深く鍼を刺入し、短時間速やかに持ち上げて押し込む。
5.1.181		superficial needling	浮刺		古代の鍼刺入法の1つ。浅く斜めに刺すのが特徴。
5.1.182		yin needling	陰刺		古代の鍼刺入法の1つ。両側の経穴を選択して刺す。
5.1.183		proximate needling	傍鍼刺		古代の鍼刺入法の1つ。直鍼刺の後、近接した領域に2本斜めに鍼を刺入する。
5.1.184		repeated shallow needling	贊刺		古代の鍼刺入法の1つ。出血を引き起こす複数の浅い鍼刺入が特徴。
5.1.185	留鍼；置鍼	needle retention	留鍼		経穴に鍼をしばらく保持して、効果を維持し長引かせること。
5.1.185	留鍼；置鍼	needle retention	置鍼		経穴に鍼をしばらく保持して、効果を維持し長引かせること。
5.1.186		subcutaneous needle retention method	皮下留鍼法		皮下に鍼を長時間留置する手技。
5.1.187		needle-embedding	埋鍼法		特定の経穴に小型の鍼を1本または複数本埋め込み、疾患を緩和または治療する方法。
5.1.188		scattered needling method	散刺法		罹患部位の周囲を三稜鍼で刺す治療法。
5.1.189		piercing method	挑刺法		線維状の物質の小片を鍼でつつきだし、少量の津を絞り出す方
5.1.190		pricking	點刺		素早く刺し通す鍼療法の方法。通常三稜鍼で行う。
5.1.191		pricking therapy	點刺療法		點刺による治療。
5.1.192		pricking bloodletting method	刺絡法		浅静脈を三稜鍼で突き通し、少量の血を流出させる治療法。
5.1.193	刺絡療法；刺絡法	collateral vessel pricking therapy	刺絡療法		小さい血管を刺して瀉血させる治療法。
5.1.193	刺絡療法；刺絡法	collateral vessel pricking therapy	刺絡法		小さい血管を刺して瀉血させる治療法。
5.1.194		needle	出鍼		体から鍼を抜去すること。
5.1.195		needle withdrawal	出鍼法		体から鍼を抜去する方法。
5.1.196		faint during cupuncture treatment	暈鍼		鍼療法に対する有害反応。鍼療法中や鍼療法後の、失神、めまい、悪心、冷汗。needle sicknessとも呼ばれる。
5.1.197		bending of the needle	彎鍼		鍼療法中に生じる異常な状態。体に刺入した後、鍼が曲がること。
5.1.198	折鍼；斷鍼	needle breakage	折鍼		鍼療法を行った際に、皮下で鍼が折れること。
5.1.198	折鍼；斷鍼	needle breakage	斷鍼		鍼療法を行った際に、皮下で鍼が折れること。
5.1.199		stuck needle	滯鍼		鍼療法中に生じる事故。鍼を曲げたり、持ち上げたり、押し込んだりできなくなること。
5.1.200		acupuncture indications	鍼適應症		鍼療法が推奨されるまたは必要な状態。
5.1.201		acupuncture contraindications	鍼禁忌症		鍼療法が不適切なまたは望ましくないすべての状態。
5.1.202		non-indication of acupuncture	鍼不適應症		鍼療法が推奨されない状態。
5.1.203		needling-prohibited noint	禁鍼穴		鍼を適用してはならない部位。
5.1.204		insertion resistance	刺鍼抵抗		鍼刺入に抵抗すること。
5.1.205		needling-sensitive person	鍼敏感人		鍼療法に容易に迅速に反応する人。
5.1.206		magneto-therapeutic	磁療儀		疾患を治癒させるため、経穴に磁力を適用する器具。
5.1.207		electro-acupuncture	電鍼		刺入後に鍼を電気刺激すること。
5.1.208		electro-acupuncture device	電鍼儀		電流パルスを適用し、鍼療法部位を刺激する器具。
5.1.209		electro-acupuncture therapy	電鍼療法		電鍼を用いた疾患の治療。
5.1.210		laser acupuncture	激光鍼		経穴に、鍼の代わりにレーザー照射を行う鍼療法の一つ。
5.1.211		laser acupuncture therapy	穴位激光照射法		経穴にレーザー照射を行う治療。

5.1.212	知熱感度測定器; 溫度感覺測定器	thermesthesiometer	知熱感度測定器		熱感を測定する器具。
5.1.212	知熱感度測定器; 溫度感覺測定器	thermesthesiometer	溫度感覺測定器		熱感を測定する器具。
5.1.213		herbal acupuncture	藥鍼		經穴に薬剤液を注射すること。
5.1.214		herbal acupuncture therapy	藥鍼療法		經穴に薬剤液を注射する、鍼療法と薬剤療法の併用療法。
5.1.215		electrothermic needle	電熱鍼		電気により熱効果を起こす鍼療器具。
5.1.216		microwave acumoxa	微波鍼灸		刺入した鍼にマイクロ波放射を適用し、鍼療法と灸療法の両方の効果を生じさせること。
5.1.217		microwave acupuncture therapy	微波鍼療法		微波鍼灸を用いた疾患の治療。
5.1.218		bee venom acupuncture	蜂鍼		特定の經穴または経絡の皮膚を、治療目的(特に疼痛緩和)で蜂に刺させる(またはエビシンの注射) 特殊な鍼療法。
5.1.219		acupuncture point injection	穴位注射		經穴に液体の薬剤を注射すること。
5.1.220		acupuncture point injection	穴位注射療法		鍼療法と經穴に液体の薬剤を注射する薬剤療法の併用療法。
5.1.221		incision therapy	割治療法		特定の經穴を切開し、少量の皮下組織を除去する治療。
5.1.222		acupuncture anaesthesia	鍼刺麻酔法		外科手術のため、鍼により麻酔効果を生じさせる方法。
5.1.223		segmental needling	脊髓分節刺鍼		不調のある構造と関連した脊髓分節の一領域に対する鍼療法。
5.1.224		non-segmental needling	脊髓分節外刺鍼		不調のある構造と関連のない脊髓分節の一領域に対する鍼療法。
5.1.225		trigger point	發痛点		刺激したときに、体のどこかに反応を起こす、感受性の高い体の領
5.1.226		trigger point needling	發痛点刺鍼		治療目的で發痛点に鍼を刺す、鍼療法の一つ。
5.1.227		tender point needling	壓痛点刺鍼		治療目的で壓痛点に鍼を刺す、鍼療法の一つ。
5.1.228		intramuscular stimulation needling	筋肉刺鍼		深部の筋肉の筋収縮に対する鍼刺激治療。特に神経因性の慢性疼痛に有効。needling myofascial trigger pointsとしても知られる。
5.1.229		paraneural needling	傍神経刺鍼		施術者が神経近傍の組織に鍼を刺入する刺激法。
5.1.230	筋鍼通電療法; 筋pulse療法	muscle electro-needling	筋鍼通電療法		施術者が筋肉に鍼を刺入し、鍼に電極を付けて、鍼に電流を流す刺激法。
5.1.230	筋鍼通電療法; 筋pulse療法	muscle electro-needling	筋pulse療法		施術者が筋肉に鍼を刺入し、鍼に電極を付けて、鍼に電流を流す刺激法。
5.1.231	神経鍼通電療法; 神経pulse療法	nerve electro-needling	神経鍼通電療法		施術者が神経の近くに鍼を刺入し、鍼に電極を付けて、鍼に電流を流す刺激法。
5.1.231	神経鍼通電療法; 神経pulse療法	nerve electro-needling	神経pulse療法		施術者が神経の近くに鍼を刺入し、鍼に電極を付けて、鍼に電流を流す刺激法。
5.1.232	皮下鍼通電療法; 皮下pulse療法	subcutaneous electro-needling	皮下鍼通電療法		施術者が皮下組織に鍼を刺入し、鍼に電極を付けて、鍼に電流を流す刺激法。
5.1.232	皮下鍼通電療法; 皮下pulse療法	subcutaneous electro-needling	皮下pulse療法		施術者が皮下組織に鍼を刺入し、鍼に電極を付けて、鍼に電流を流す刺激法。
5.1.233		facet joint electro-needling	椎間關節鍼通電療法		施術者が脊椎骨の椎間關節に鍼を刺入し、鍼に電極を付けて、鍼に電流を流す刺激法。
5.1.233		facet joint electro-needling	椎間關節pulse療法		施術者が脊椎骨の椎間關節に鍼を刺入し、鍼に電極を付けて、鍼に電流を流す刺激法。
5.1.234		sham acupuncture	偽鍼		(1) 鍼療法の効果に関する臨床研究において、プラセボ対照として用いる偽の鍼療法 (2) 偽の鍼療法のための道具。
5.2.0		Moxibustion	灸(法)		
5.2.1	灸(法)	moxibustion	灸		点火した物質(通常もぐさ)で特定の經穴または体表の領域に熱を与え、経絡および内臓機能を調節することで疾患を治療する方法。
5.2.1	灸(法)	moxibustion	灸法		点火した物質(通常もぐさ)で特定の經穴または体表の領域に熱を与え、経絡および内臓機能を調節することで疾患を治療する方法。
5.2.2		moxa	艾		(1) ヨモギ (2) 艾絨の材料となる植物
5.2.3		moxa floss	艾絨		ヨモギの葉で作られた、灸療法に使う綿に似た物質。
5.2.4		moxa cone	艾柱		艾絨で作られた、灸療法用の円錐形の塊。
5.2.5		moxa cone moxibustion	艾柱灸		断熱物質を用いて、点火した艾柱を皮膚に直接または間接的に適用する灸療法

5.2.6		direct	直接灸	点火した艾柱を経穴の皮膚表面に直接適用する灸療法。
5.2.7		wheat-grain size cone	麥粒灸	小麦粒の大きさの艾柱を用いる艾柱灸療法の一つ。
5.2.8	間接灸；間隔灸；隔物灸	indirect moxibustion	間接灸	艾柱と皮膚の間に何らかの断熱物質を置いて行う灸療法。
5.2.8	間接灸；間隔灸；隔物灸	indirect moxibustion	間隔灸	艾柱と皮膚の間に何らかの断熱物質を置いて行う灸療法。
5.2.8	間接灸；間隔灸；隔物灸	indirect moxibustion	隔物灸	艾柱と皮膚の間に何らかの断熱物質を置いて行う灸療法。
5.2.9		moxibustion on ginger	隔薑灸	断熱物質として、一片の新鮮なショウガの上で灸療法を行うこと。ginger moxibustionとも呼ばれる。
5.2.10		moxibustion on salt	隔鹽灸；鹽灸	断熱物質として、塩の上で灸療法を行うこと。salt moxibustionとも呼ばれる。
5.2.11	隔蒜灸；大蒜灸；隔蒜灸	moxibustion on garlic	隔蒜灸	断熱物質として、新鮮なニンニクのスライスの上で灸療法を行うこと。garlic moxibustionとも呼ばれる。
5.2.11	隔蒜灸；大蒜灸；隔蒜灸	moxibustion on garlic	大蒜灸	断熱物質として、新鮮なニンニクのスライスの上で灸療法を行うこと。garlic moxibustionとも呼ばれる。
5.2.11	隔蒜灸；大蒜灸；隔蒜灸	moxibustion on garlic	隔蒜灸	断熱物質として、新鮮なニンニクのスライスの上で灸療法を行うこと。garlic moxibustionとも呼ばれる。
5.2.12		moxa stick	艾條	艾絨で作られた丸くて長い棒。moxa rollとも呼ばれる。
5.2.13		moxa stick moxibustion	艾條灸	点火した艾條を用いた灸療法。
5.2.14		moxa stick moxibustion therapy	艾條灸療法	点火した艾條を用いて灸療法を行うこと。
5.2.15		moxa roll moxibustion	艾卷	紙でびったりと包んだ、長い筒状の巻いた艾絨。
5.2.16		moxa roll moxibustion	艾卷灸	点火した艾卷を用いた灸療法。艾條灸と同義。
5.2.17		gentle moxibustion	溫和灸	艾條灸療法の一つ。患者の皮膚から特定の距離離れたところで、点火した艾條を持ち、その点を温め、赤化させるが焼かない。
5.2.18		circling moxibustion	廻旋灸	艾條灸療法の一つ。患者の皮膚から一定の距離で、点火した艾條を持ち、艾條を円状に動かす。
5.2.19	雀啄灸；雀啄法	pecking sparrow moxibustion	雀啄灸	艾條灸療法の一つ。点火した艾條を患者の皮膚の近くに置き、鳥がついばむように上下に動かして、経穴に強い熱を与える。
5.2.19	雀啄灸；雀啄法	pecking sparrow moxibustion	雀啄法	艾條灸療法の一つ。点火した艾條を患者の皮膚の近くに置き、鳥がついばむように上下に動かして、経穴に強い熱を与える。
5.2.20		suspended moxibustion	懸灸	艾條灸療法の一つ。点火した艾條を皮膚の上で持つ。
5.2.21		moxibustion scar	灸痕	直接灸によるやけどの跡。
5.2.22	無癩痕灸；無痕灸；非化膿灸	non-scarring moxibustion	無癩痕灸	点火した艾柱を直接経穴の皮膚表面に適用するが、やけどさせず、灸痕を残さない灸療法
5.2.22	無癩痕灸；無痕灸；非化膿灸	non-scarring moxibustion	無痕灸	点火した艾柱を直接経穴の皮膚表面に適用するが、やけどさせず、灸痕を残さない灸療法
5.2.22	無癩痕灸；無痕灸；非化膿灸	non-scarring moxibustion	非化膿灸	点火した艾柱を直接経穴の皮膚表面に適用するが、やけどさせず、灸痕を残さない灸療法
5.2.23	癩痕灸；有痕灸；化膿灸；打膿灸	scarring moxibustion	癩痕灸	直接灸の一つ。点火したもぐさを直接経穴に置き、皮膚の一部に水ぶくれを作らせ、化膿させて癩痕を残す。
5.2.23	癩痕灸；有痕灸；化膿灸；打膿灸	scarring moxibustion	有痕灸	直接灸の一つ。点火したもぐさを直接経穴に置き、皮膚の一部に水ぶくれを作らせ、化膿させて癩痕を残す。
5.2.23	癩痕灸；有痕灸；化膿灸；打膿灸	scarring moxibustion	化膿灸	直接灸の一つ。点火したもぐさを直接経穴に置き、皮膚の一部に水ぶくれを作らせ、化膿させて癩痕を残す。
5.2.23	癩痕灸；有痕灸；化膿灸；打膿灸	scarring moxibustion	打膿灸	直接灸の一つ。点火したもぐさを直接経穴に置き、皮膚の一部に水ぶくれを作らせ、化膿させて癩痕を残す。
5.2.24		pressing moxibustion	實按灸	数層の布または紙を経穴に置き、点火した艾條の末端圧を布または紙に押しつけて行う灸療法。
5.2.25		juncibustion	燈火灸	点火した油に浸した1片のイグサで、経穴に素早く瞬間的に触れることにより行う灸療法。
5.2.26	天灸；發泡灸	natural moxibustion	天灸	刺激薬を経穴に適用し、水ぶくれを作らせ、局所的にうっ血させる灸療法。vesiculation moxibustionとしても知られる。
5.2.26	天灸；發泡灸	natural moxibustion	發泡灸	刺激薬を経穴に適用し、水ぶくれを作らせ、局所的にうっ血させる灸療法。vesiculation moxibustionとしても知られる。
5.2.27		Taiyi moxa stick moxibustion	太乙神鍼	白檀、羌活、桂皮小枝、白芷およびその他の生薬で作られた特別な艾卷。風寒湿閉節痛、寒タイプの腹痛、月経困難症の治療に用

5.2.28		thunder-fire wonder moxibustion	雷火神鍼		薬用の艾巻の一種。沈香、木香、乳香、およびその他の生薬を含む。上腹部の寒および疼痛、リウマチ、月経困難症などの疾患の治療に用いられる。
5.2.29	薬物灸；薬調灸	medicinal moxibustion	薬物灸		もぐさとさまざまな生薬で作られたもぐさ葉巻を用いる灸療法。
5.2.29	薬物灸；薬調灸	medicinal moxibustion	薬調灸		もぐさとさまざまな生薬で作られたもぐさ葉巻を用いる灸療法。
5.2.30		warm needling therapy	温鍼療法		温鍼灸療法を用いる治療法。
5.2.31		moxa burner	温灸器		燃えている艾絨を保持するためにデザインされた容器。
5.2.32		moxa burner moxibustion	温灸器灸		もぐさ燃焼器を用いて点火した艾絨を保持する灸療法。
5.2.33		moxibustion with moxa tube	筒灸		耳の穴に細い管の一端を差し込み、管のもう一端に灸をすえる手技。
5.2.34		incense thread	線香		灸療法に使われる細い香の棒。
5.2.35		number of cones	壯數		灸の量を測定する単位。
5.2.36		electro-moxibustion	電気灸		もぐさの代わりに用いられる、電気的な皮膚の刺激。
5.2.37		moxibustion indications	灸適應症		灸療法が推奨されるまたは必要な状態。
5.2.38		non-indication of moxibustion	灸不適應症		灸療法が推奨されない状態。
5.2.39		moxibustion-prohibited point	禁灸穴		灸療法を行ってはならない経穴。
5.3.0		Cupping	拔罐		
5.3.1		cupping	拔罐		真空のカップまたはピンを用いた吸引。
5.3.2		cupping method	拔罐法		通常火により真空にしたカップまたはピンを、罹患部位または体表のさまざまな部位に置いて吸引する治療法。
5.3.3		suction cup	抽氣罐		内部の空気を吸引器で除去するためのゴム栓のついたカップまたは
5.3.4		bamboo cup	竹罐		竹で作られた拔罐用器具。
5.3.5		retained cupping	留罐		カップまたはピンを一定時間同じ所に置いておく、一般的な拔罐の
5.3.6		fire-insertion cupping method	投火法		点火した一片のアルコール綿または紙をカップに入れ、体の側面の治療部位に対して横方向にカップを押しつける拔罐法。
5.3.7		flash-fire cupping method	閃火法		一片の点火したアルコール綿の火を、カップ内部の周囲で一度ぱっと発火させ、点火した綿を除去してすぐに治療部位にカップを
5.3.8		cotton-burning cupping method	貼棉法		アルコール綿の薄い層をカップ壁の下3分の1のところに置き、綿に点火した後、治療部位にカップを押しつける拔罐法。
5.3.9		slide cupping	走罐		皮膚表面上でカップまたはピンを動かして作用部位を広げる拔罐
5.3.10		medicated cupping	薬罐		拔罐療法の一つで、使用前にカップまたはピンを沸騰した薬物液に入れる。
5.3.11	刺絡拔罐法；刺血拔罐法	pricking-cupping bloodletting method	刺絡拔罐法		鍼と拔罐の併用法で、三稜鍼で刺した後、拔罐を行って瀉血を増加させる。
5.3.11	刺絡拔罐法；刺血拔罐法	pricking-cupping bloodletting method	刺血拔罐法		鍼と拔罐の併用法で、三稜鍼で刺した後、拔罐を行って瀉血を増加させる。
6.0.0		MEDICINAL TREATMENT	薬物治療		
6.1.0	薬(物)	Medicinal	薬		治癒力または治療能力を有するか有するとされている薬用の物
6.1.0	薬(物)	Medicinal	薬物		治癒力または治療能力を有するか有するとされている薬用の物
6.1.1		Chinese	中薬		通常、中国の本草書に記録されている薬用の物質。
6.1.2		herbs/herbal drugs	草薬		通常、中国の本草に記録されていない薬用の物質、または民間医療のみで使用されている薬用の物質。薬草とも呼ばれる。
6.1.3		materia medica	本草		薬剤の起源および調製、用量、投与方法に関する医学。Chinese medicinal herbsとも称される。
6.1.4		medicinal	薬材		加工用の粗天然薬剤。
6.1.5		authentic medicinal	道地薬材		起源となる場所で生産された真の薬用植物。
6.1.6	炮製；修治；修事	processing of medicinals	炮製		医用に使われる前にさまざまな方法で薬用の物質を処理する際の一般的な用語。
6.1.6	炮製；修治；修事	processing of medicinals	修治		医用に使われる前にさまざまな方法で薬用の物質を処理する際の一般的な用語。
6.1.6	炮製；修治；修事	processing of medicinals	修事		医用に使われる前にさまざまな方法で薬用の物質を処理する際の一般的な用語。
6.1.7	切(製)	cut the medicinal	切		薬物を切り刻むこと。
6.1.7	切(製)	cut the medicinal	切製		薬物を切り刻むこと。
6.1.8		water processing	水製		水を用いて処理すること。洗浄、漂白、浸漬、水による精製など。
6.1.9		water-grind	水飛		タンク内の水と混ぜることで、粉末の薬物から不純物を除去し、同時に微細な粉末を得て、上層の濁った液体を別のタンクに移し、沈殿物を回収すること。
6.1.10		fire processing	火製		熱または火を用いて処理すること。攪拌しながら炒る、炒る、焼成
6.1.11		plain stir-bake	清炒		かき混ぜながら、補助剤を添加せずに鍋で薬物を炒ること。
6.1.12		stir-bake to	炒黄		かき混ぜながら、黄色くなるまで鍋で薬物を炒ること。
6.1.13		stir-bake to	炒焦		かき混ぜながら、茶色くなるまで鍋で薬物を炒ること。
6.1.14		stir-bake to	炒炭		かき混ぜながら、一部が炭になるまで鍋で薬物を炒ること。

6.1.15		stir-bake with adjuvant	炙		薬物に補助剤を加えて、補助剤が薬物に浸潤するまで、かき混ぜながら炒ること。
6.1.16		calcine	煨		薬物を火で燃やし、容易に砕けるようカリカリにすること。
6.1.17		roast	煨		薬物を、濡れた紙に包むか、熱い灰の生地でコーティングして、紙かコーティングが黒くなるまで炒ること。
6.1.18		bake	烘焙		薬物を弱火で乾燥させること。
6.1.19		long-rinse	漂		連続的に置換して不純物を除去したきれいな水に、物質を浸すこと。
6.1.20		eliminate fire	去火毒		新しく調製した膏薬から刺激薬を除去すること。
6.1.21		processing with wine	酒製		薬剤を日本酒または蒸留酒で処理すること。
6.1.22		processing with vinegar	醋製		主として 攪拌しながら炒り、薬剤を酢と共に処理すること。
6.1.23		top grade drug	上品		毒性がなく、若返り効果を有し、害がなく高頻度で長期間使用でき
6.1.24		medium grade	中品		毒性がないまたは軽い毒性しかなく、疾患や欠乏症の治療に有効
6.1.25		low grade drug	下品		病原体の排除に有効であるが、毒性があり、長期間は使用できない
6.1.26		flavor of medicinals	薬味		その薬剤の基本的な作用を示す、薬物の味や風味。
6.1.27		nature of medicinals	薬性		薬剤の基本的な性質。
6.1.28		qi and flavor	氣味		その薬剤の主効果を示す、薬物の性質や風味。
6.1.29	四氣；四性	four qi	四氣		薬剤の4つの基本的性質。寒・熱・温・涼。
6.1.29	四氣；四性	four qi	四性		薬剤の4つの基本的性質。寒・熱・温・涼。
6.1.30		five flavors	五味		その薬剤の基本的な作用を示す、薬剤の5種類の味。辛・甘・酸・
6.1.31		upbearing, downbearing, floating and sinking	升降浮沈		薬剤の作用の方向。升降出入。
6.1.32		meridian entry	歸經		どの治療作用が発現されるかに対する経絡に基づく薬剤の作用の方向。meridian tropismとも呼ばれる。
6.1.33		mutual reinforcement	相須		それぞれの作用を増強するために併用される、同様な性質を有する2つの薬剤。
6.1.34		mutual assistance	相使		併用して使用される2つ以上の薬剤。1つは主物質であり、もう一方は前者の作用を増強する補助的な役割を果たす。
6.1.35		mutual restraint	相畏		別の薬剤により中和される、薬剤の毒性または副作用。
6.1.36		mutual suppression	相殺		別の薬剤の毒性を中和する薬剤の性質。
6.1.37		mutual inhibition	相惡		別の薬剤の作用を減弱させる薬剤の性質。
6.1.38		antagonism	相反		拮抗的な2つの薬剤の組み合わせ。併用すると、1つの薬剤が別の薬剤の治療効果を妨げたり、有害作用を起こしたりする可能性が
6.1.39		prohibited combination	配伍禁忌		処方では併用が禁止されている薬剤。
6.1.40		eighteen antagonisms	十八反		不適合な薬剤。併用すると、重篤な副作用を起こすと考えられている。：甘草は 京大戟、芫花、甘遂および海藻に対して拮抗作用を示す。烏頭は、貝母、白及、半夏、白朮および括藶に拮抗作用を示す。藜蘆は 人參、丹參、沙參、苦參、女參、細辛および芍薬
6.1.41		nineteen incompatibilities	十九畏		相互抑制作用を示す薬剤。併用すると、お互いの作用を抑制または中和する可能性がある。硫黄は朴硝(硫酸ナトリウム)と不適合である。水銀は砒霜(三酸化砒素)と不適合である。狼毒は密陀僧(一酸化鉛)と不適合である。巴豆は牽牛子と不適合である。丁香は鬱金と不適合である。牙硝(結晶硫酸ナトリウム)は三稜と不適合である。川烏および草烏は、犀角と不適合である。人參は、五靈脂と不適合である。車前子、赤石脂と不適合である。
6.1.42		contraindication	禁忌		ヒトに薬剤や治療法の使用を推奨できない原因となる疾患、症状または状況。
6.1.43		contraindications during pregnancy	妊娠禁忌		妊娠中の投与が禁止されている薬剤。
6.1.44		dietary contraindication during	服薬食忌		薬剤投与中に避けるべき食物の種類。
6.1.45		dietary contraindications	食忌		薬剤投与中の食事の禁忌の略語。
6.1.46		dosage	劑量		使用すべき薬剤の計量した量。
6.1.47		square-inch-spoon	方寸匕		薬剤量を測定するための古来の道具。1方寸匕は、2.74 ml、約2 gの粉末鉱物性成分、および1gの粉末薬草成分と等しい。
6.1.48		combination	配伍		望ましい治療効果を得て、毒性や副作用を低減するために、1回の処方または方剤でさまざまな薬剤を一緒に使用すること。
6.1.49		exterior-releasing medicinal	解表薬		外因性の病原体を体の外表面から、通常発汗により排出する効果を有する薬剤のカテゴリー。
6.1.50		wind-cold-dispersing medicinal	發散風寒薬		表証の治療において、風寒を消散させる効果を有する薬剤。
6.1.51		pungent-warm exterior-releasing medicinal	辛温解表薬		風寒による表証の治療に使われる、風味は辛、性質は温の、解表剤。

6.1.52		wind-heat dispersing medicinal	發散風熱藥		表証の治療において風熱を消散させる効果を有する薬剤
6.1.53		pungent-cool exterior-releasing medicinal	辛涼解表藥		風熱による表証の治療に使われる、風味は辛、性質は涼の、解表剤。
6.1.54		heat-clearing medicinal	清熱藥		外感病による熱性疾患または陰虚による発熱の場合に、内熱を除去する効果を有する薬剤のカテゴリー。
6.1.55		heat-clearing and fire-purging medicinal	清熱瀉火藥		内部から熱を取り去る、または火を除去する効果を有する薬剤。
6.1.56		heat-clearing and dampness-drying medicinal	清熱燥濕藥		熱湿を排除するのに有効な薬剤。
6.1.57		heat-clearing and detoxicating medicinal	清熱解毒藥		熱毒を中和する薬剤。
6.1.58		heat-clearing and blood-cooling medicinal	清熱涼血藥		外部拘束性の熱性疾患の場合に、栄養および血から病原性の熱を排除する効果を有する薬剤。
6.1.59		deficiency heat-clearing	清虚熱藥		欠乏症から熱を除去する薬剤。
6.1.60		purgative medicinal	瀉下藥		便秘を緩和するだけでなく、鬱滞した物質、過剰な熱、および滞留した液体を体外に排出するために、排便を促進し、下痢を起こすこともある薬剤のカテゴリー
6.1.61		offensive purgative medicinal	攻下藥		腸を動かして過剰な熱と停滞した物質を排除するために強力な下剤の効果を有する薬剤。
6.1.62		warm purgative medicinal	温下藥		過剰な寒鬱滞による便秘を緩和する、性質は温の薬剤。
6.1.63		laxative	潤下藥		腸管をなめらかにして排便を促進する薬剤。
6.1.64		drastic (purgative) water-expelling	峻下逐水藥		全身浮腫、腹水および胸水で蓄積された液体を低減するために、大量の水を排出させる下剤。
6.1.65		wind-dampness-dispelling medicinal	祛風濕藥		主としてリウマチおよびその関連疾患を緩和するために風湿を排除する薬剤のカテゴリー。
6.1.66		wind-dampness-dispelling and cold-dispersing medicinal	祛風濕散寒藥		風湿を排除し、寒を消散させる薬剤。寒型の風湿関節痛に適用される。
6.1.67		wind-dampness-dispelling and heat-clearing medicinal	祛風濕清熱藥		風湿を排除し、熱を除去する薬剤。熱型の風湿関節痛の治療に適用される。
6.1.68		dampness-resolving medicinal	化濕藥		温めて乾燥させ、湿邪を消退させる芳香性の薬剤。
6.1.69	利水滲濕藥；利濕藥	dampness-draining diuretic	利水滲濕藥		湿邪の内部鬱滞を治療するために、尿排泄および水の排出を増加させる薬剤。
6.1.69	利水滲濕藥；利濕藥	dampness-draining diuretic	利濕藥		湿邪の内部鬱滞を治療するために、尿排泄および水の排出を増加させる薬剤。
6.1.70		water-draining and swelling-dispersing medicinal	利水消腫藥		浮腫を治療するために、尿排泄を増加させる薬剤。
6.1.71		strangury-relieving diuretic	利尿通淋藥		尿排泄を増加させ、有痛排尿困難を緩和する薬剤。主として、有痛性の排尿困難を有する下焦の湿熱の治療に適用される。
6.1.72		strangury-relieving	通淋藥		さまざまな有痛排尿困難を緩和する薬剤。
6.1.73		dampness-draining anti-icteric medicinal	利濕退黄藥		湿邪を排除し、黄疸を緩和する薬剤。湿熱黄疸の治療に適用される。
6.1.74		bile-draining anti-icteric	利膽退黄藥		胆汁の排出を促進し、黄疸を緩和する薬剤。
6.1.75		interior-warming medicinal	温裏藥		内部を温め、内寒を排除する薬剤。
6.1.76		qi-regulating medicinal	理氣藥		気の動きを調節して、気滞または気逆を治療する薬剤。
6.1.77	消食藥；消導藥	digestant medicinal	消食藥		消化を助け、蓄積された未消化の食物をなくす薬剤。
6.1.77	消食藥；消導藥	digestant medicinal	消導藥		消化を助け、蓄積された未消化の食物をなくす薬剤。
6.1.78		worm-expelling medicinal	驅蟲藥		寄生虫を駆除するまたは殺す薬剤。

6.1.79		hemostatic (medicinal)	止血薬		内部または外部の出血を抑える薬剤のカテゴリー。
6.1.80		blood-cooling hemostatic medicinal	涼血止血薬		血から熱を除去することで出血を抑える薬剤。血熱性出血の治療に適用される。
6.1.81		stasis-resolving hemostatic medicinal	化瘀止血薬		出血を抑え、同時にさらなる出血を起こしうる鬱滞した血を除去する薬剤。
6.1.82		astringent hemostatic medicinal	収斂止血薬		収斂作用により出血を抑える薬剤。
6.1.83		meridian- warming hemostatic	温經止血薬		経絡を温めることで出血を抑える薬剤。
6.1.84		blood-activating and stasis- resolving medicinal	活血化瘀薬		血流を促進し、鬱血を解消する薬剤。
6.1.85		blood-activating and stasis- dispelling medicinal	活血祛瘀薬		血流を促進し、鬱血をなくす薬剤。
6.1.86		blood-activating medicinal	活血薬		遅滞または鬱滞した血流の治療に用いられる薬剤のカテゴリー。
6.1.87		stasis-resolving medicinal	化瘀薬		鬱血の治療に用いられる薬剤のカテゴリー。
6.1.88		blood-activating analgesic medicinal	活血止痛薬		血を活性化させ、気を動かし、疼痛を軽減する薬剤。気および血の鬱滞による有痛性の病態の治療に適用される。
6.1.89		blood-activating and qi-moving medicinal	活血行気薬		血を活性化させ、気の流れを促進する薬剤。主として気および血の鬱滞の治療に使用される。
6.1.90		blood-activating menstruation- regulating medicinal	活血調經薬		血を活性化させ、月経を調節する薬剤。月経疾患、月経困難症、無月経および産後の鬱血の治療に使用される。
6.1.91		blood-activating trauma-curing medicinal	活血療傷薬		血を活性化し、腫脹を軽減し、出血を抑え、創傷や骨折の治療を促進する薬剤。
6.1.92		blood-breaking mass-eliminating medicinal	破血消癥薬		劇的に作用し、鬱血を破壊し、塊をなくす薬剤。
6.1.93		cough- suppressing and panting-calming medicinal	止咳平喘薬		咳嗽および呼吸困難を緩和する薬剤。
6.1.94		tranquillizing medicinal	安神薬		心を鎮め、精神的緊張を緩和する薬剤。
6.1.95		settling tranquillizing medicinal	重鎮安神薬		大半が鉱物、化石骨、または貝殻であり、鎮静作用により安定化させる薬剤。
6.1.96		heart-nourishing tranquillizing medicinal	養心安神薬		心臓の陰血に栄養を与え、心を鎮める薬剤。
6.1.97		liver-pacifying and wind- extinguishing	平肝熄風薬		肝臓を和らげ陽盛を抑制し、内風を消滅させ、痙縮や振戦を制御する薬剤。
6.1.98		orifice-opening medicinal	開竅薬		風味は芳香性で、蘇生効果がある薬剤。閉證における神昏の緊急治療に使用される。
6.1.99		tonifying and replenishing medicinal	補益薬		正気を補充し、体の抵抗性を高める薬剤のカテゴリー。欠乏症の治療に使用される。
6.1.100		qi-tonifying medicinal	補気薬		正気を強める薬剤。気虚の治療に使用される。
6.1.101		yang-tonifying medicinal	補陽薬		陽気を強める薬剤。陽虚の治療に使用される。
6.1.102		kidney yang- tonifying	補腎陽薬		腎陽を強める薬剤。腎陽虚の治療に使用される。
6.1.103	補血薬：養 血薬	blood-tonifying medicinal	補血薬		血虚治療において血を強める薬剤。養血剤と同義。
6.1.103	補血薬：養 血薬	blood-tonifying medicinal	養血薬		血虚治療において血を強める薬剤。補血剤と同義。
6.1.104		liver-emolliating medicinal	柔肝薬		肝陰または血の欠乏症の治療において肝臓の陰血を補充する薬剤。

6.1.105	補陰薬; 養陰薬; 滋陰薬	yin-tonifying medicinal	補陰薬		陰液を強めて栄養を与える薬剤。養陰薬または滋陰薬と同義。
6.1.105	補陰薬; 養陰薬; 滋陰薬	yin-tonifying medicinal	養陰薬		陰液を強めて栄養を与える薬剤。補陰薬または滋陰薬と同義。
6.1.105	補陰薬; 養陰薬; 滋陰薬	yin-tonifying medicinal	滋陰薬		陰液を強めて栄養を与える薬剤。養陰薬または補陰薬と同義。
6.1.106	收澀薬; 固澀薬	astringent medicinal	收澀薬		不安定な正気、および過剰な発汗、慢性下痢、遺尿症、出血、帯下および欠乏型の精液漏などの内臓機能低下による分泌を抑えるさまざまな薬剤。
6.1.106	收澀薬; 固澀薬	astringent medicinal	固澀薬		不安定な正気、および過剰な発汗、慢性下痢、遺尿症、出血、帯下および欠乏型の精液漏などの内臓機能低下による分泌を抑えるさまざまな薬剤。
6.1.107		exterior-securing anhidrotic medicinal	固表止汗薬		表面を強化することで過剰な発汗を抑える薬剤。
6.1.108		sweat-constraining exterior-securing	斂汗固表薬		過剰な発汗を抑えることで表面を強化する薬剤。
6.1.109		heat-clearing astringent medicinal	清熱收澀薬		熱を除去し、分泌を阻止する薬剤。病原性の熱による出血または滲出の治療に使用される。
6.1.110		lung-intestine astringent medicinal	斂肺澀腸薬		咳嗽および呼吸困難を緩和し、慢性下痢を抑える酸および収斂薬。
6.1.111	湧吐薬; 催吐薬	emetic medicinal	湧吐薬		嘔吐を起こさせる薬剤。
6.1.111	湧吐薬; 催吐薬	emetic medicinal	催吐薬		嘔吐を起こさせる薬剤。
6.1.112		resolving medicinal	消散薬		瘡および潰瘍の軽減または減少を促進する薬剤。
6.2.0		Formula	方劑		
6.2.1		formula	方劑		方劑、レシピ。
6.2.2		classical formula	經方		漢王朝以前に記録された処方書。特に張仲景の書籍に記録されている処方のこと。
6.2.3		Kampo formula	漢方薬		漢方医学で使用される薬剤の処方。
6.2.4		principles, methods, formulas and	理法方薬		診断および治療の4つの基本的なステップ。原因の決定、医学の理論と原理に基づく疾患のメカニズムと位置、そして治療の原理と方法の決定、最後に処方ならびに適切な薬剤の選択。
6.2.5		couplet medicinals	薬對		治療効果を高めるまたは毒性を軽減するために対で使用される2つの薬剤。
6.2.6		sovereign, minister, assistant and	君臣佐使		異なる役割を有する処方または方劑の成分。
6.2.7		sovereign medicinal	君薬		主な証または主要な症状に対して、主要な治癒作用を生じさせる成分。
6.2.8		minister	臣薬		主な治癒作用を増強するのに有用な成分。
6.2.9		assistant medicinal	佐薬		合併した証を治療し、副次的な症状を緩和する、または強力すぎる場合に特効的な成分の作用を軽減する成分。
6.2.10		courier medicinal	使薬		罹患した経絡または部位への作用を支配する成分。
6.2.11		counteracting assistant	反佐		特効的な成分とは反対の性質および特効的な成分に相補的な治療効果を有する補助的な成分。
6.2.12		major formula	大方		多くの成分または大用量の薬剤から成る処方または方劑。過剰増殖性の病原体を有する重篤な疾患または下焦の疾患の治療に用
6.2.13		minor formula	小方		2, 3種類の成分または小用量の薬剤のみを含む処方または方劑。軽度の疾患の治療に用いられる。
6.2.14	緩方; 緩劑	slow-acting formula	緩方		緩徐に作用する成分から構成される処方または方劑。慢性疾患の長期治療に適用される。
6.2.14	緩方; 緩劑	slow-acting formula	緩劑		緩徐に作用する成分から構成される処方または方劑。慢性疾患の長期治療に適用される。
6.2.15	急方; 峻劑	quick-acting formula	急方		緊急または危篤症例の治療において、即時的な効果のある成分から構成される処方。
6.2.15	急方; 峻劑	quick-acting formula	峻劑		緊急または危篤症例の治療において、即時的な効果のある成分から構成される処方。
6.2.16		odd-numbered formula	奇方		奇数の成分からなる処方または方劑。
6.2.17		even-numbered formula	偶方		偶数の成分からなる処方または方劑。
6.2.18		compound	複方		複数の成分または2以上の処方セットから成る処方または方劑。
6.2.19		eight tactical arrays	八陣		処方の8つのカテゴリーの総称。補陣、和陣、攻陣、散陣、寒陣、熱陣、固陣、および因陣。
6.2.20		indication	主治		特定の薬剤投与または治療の勧告または必要性を示す主な症状または特定の病態。major indicationとも呼ばれる。
6.2.21		preparation form	劑型		薬剤の性質、治療目的、投与経路に基づいてデザインされた、調製された薬剤の形状。

6.2.22		decoction (preparation)	湯劑		水中で成分を煮沸することにより調製された液体の薬剤。カスを除去した後に使用する。
6.2.23		pill preparation	丸劑		被覆または未被覆の、固形の球状の塊。適切な賦形剤または結合剤と共に微細粉末とした薬剤で作られている。
6.2.24		powder preparation	散劑		分散した微細な粒子の形状をしている製剤。内用または局所用。
6.2.25		honeyed pill	蜜丸		球状の製剤。処理した蜂蜜が結合剤として使われている。
6.2.26		pasted pill	糊丸		小さい球状の製剤。米のペーストまたは小麦粉のペーストが結合剤として使われている。
6.2.27		waxed pill	蠟丸		球状の製剤。蜜蝋が結合剤として使われている。
6.2.28		paste preparation	膏劑		軟エキス剤、軟膏 および絆創膏の一般的な用語。
6.2.29		extract	浸膏		有効成分を抽出して得られた濃縮製剤。
6.2.30		fluid paste	流膏		有効成分を含む半液体製剤。
6.2.31		ointment	軟膏		皮膚に局所適用するための軟膏。
6.2.32		plaster	膏藥		薬物を塗布したフィルム(布または紙)から構成される包帯。
6.2.33	藥酒; 酒劑	medicated wine	藥酒		薬剤を発酵酒または蒸留酒に浸漬して作成した製剤。
6.2.33	藥酒; 酒劑	medicated wine	酒劑		薬剤を発酵酒または蒸留酒に浸漬して作成した製剤。
6.2.34		pellet	丹劑		小さい粒子の形状をした製剤。通常、昇華による局所適用のため錠物から成るが、内用のものもある。
6.2.35		medicated tea	茶劑		粗い粒子または小型のケーキの形状をした製剤。熱湯と共に煎じるかまたは煮沸し、お茶として使用する。
6.2.36		medicinal strip	條劑		外用の製剤。創傷または瘻孔に適用する薬用の粉末を被覆したまたは包んだ、ねじったガーゼで作られている。
6.2.37	沖劑; 顆粒劑	soluble granules	沖劑		通常砂糖と共に薬用の抽出物で作られた顆粒剤。使用前に熱湯に溶かす。
6.2.37	沖劑; 顆粒劑	soluble granules	顆粒劑		通常砂糖と共に薬用の抽出物で作られた顆粒剤。使用前に熱湯に溶かす。
6.2.38		tablet (preparation)	片劑		散劑または薬剤の抽出物を、澱粉を形成剤として圧縮した、小型の平らな丸薬。
6.2.39		decocting pieces	飲片		煎じるための薬用の物質の小片または切片。ほとんど、適切な処理がなされている。medicinal slices と呼ばれる。
6.2.40		injection	鍼劑		注射用の薬剤。
6.2.41	坐藥; 栓劑	suppository	坐藥		固形であるが溶けやすい、円錐状または円筒状の薬物。直腸または陰に挿入する。
6.2.41	坐藥; 栓劑	suppository	栓劑		固形であるが溶けやすい、円錐状または円筒状の薬物。直腸または陰に挿入する。
6.2.42		medicated thread	藥線		糸のようなねじった紙。散劑で被覆しているまたは散劑を包んでい
6.2.43		decoction method	煎藥法		煎じ薬を作るプロセス。成分を適切な量の水と混合し、適切な時間煮沸し、使用前に液体からカスを除去する。
6.2.44		decoct with water	水煎		水から薬剤を煮沸し、煎じ薬を作ること。
6.2.45		decoct first	先煎		煎じ薬を作るとき、他の薬剤を添加する前に特定の薬剤を煮沸す
6.2.46		decoct later	後下		ほぼ煎じ終わったときに、特定の薬剤を煮沸のために加えること。
6.2.47		wrap-decoct	包煎		煎じ薬を作るときに、薬剤を布片またはガーゼで包んで煮沸するこ
6.2.48	另煎; 單煎	decoct separately	另煎		他の薬剤のカスに抽出物が吸収されないように、別々に薬剤を煮沸すること
6.2.48	另煎; 單煎	decoct separately	單煎		他の薬剤のカスに抽出物が吸収されないように、別々に薬剤を煮沸すること
6.2.49		strong fire	武火		刺激的な発汗剤など短時間の煮沸しかできない煎じ薬を作るときに使われる強火。
6.2.50		slow fire	文火		強壯剤など長時間の煮沸が必要な煎じ薬を作るときに使われる弱
6.2.51		dissolve	溶化		使用前に薬剤または煎じ薬を水に溶かすこと。
6.2.52		take drenched	沖服		使用前に、熱い湯または熱い他の薬剤の煎じ薬を、その薬剤の上
6.2.53		take before meal	飯前服		食事の約1時間前に服用すること。
6.2.54		take after meal	飯後服		食事の約1時間後に服用すること。
6.2.55		take between meals	食遠服		食事の後、長時間おいてから服用すること。
6.2.56		take before breakfast	平旦服		朝、胃が空の時に服用すること。
6.2.57		take before sleening	臨睡服		就寝前に服用すること。
6.2.58		take as tea	代茶服		高頻度で少量ずつ、お茶と共に服用すること。
6.2.59		take in frequent small amounts	頻服		(煎劑) 高頻度で少量服用すること。
6.2.60		take in one single dose	頓服		(煎劑) 全量を1回に服用すること。
6.2.61		take cold	冷服		(煎劑) 冷たいまま服用すること。
6.2.62		exterior-effusing formula	發表劑		解表劑で構成される全ての処方。発汗性の、筋弛緩および発疹促進効果を有し、表証の治療に用いられる。
6.2.63	湧吐劑; 吐劑	emetic formula	湧吐劑		嘔吐を誘発する全ての処方。痰厥、食積、毒物の摂取の治療に用いられる。
6.2.63	湧吐劑; 吐劑	emetic formula	吐劑		嘔吐を誘発する全ての処方。痰厥、食積、毒物の摂取の治療に用いられる。
6.2.64		interior-attacking formula	攻裏劑		主として腸を動かし、熱を放出させ、蓄積物を破壊し、水を排出する効果を有する下劑で構成される全ての処方。裏実証の治療に用
6.2.65		exterior-interior- releasing formula	表裏雙解劑		体の外部および内部の病原体を除去する全ての処方。表証および裏証をとともにもつ疾患の治療に適用される。

6.2.66		harmonizing and releasing formula	和解劑	体の機能の調整を行う全ての処方。少陽病、肝脾不和および寒熱錯雑証の治療に適用される。
6.2.67		qi-regulating formula	理氣劑	気の流れを調節し正常化させる全ての処方。
6.2.68		blood-regulating formula	理血劑	血の異常を正常化させる全ての処方。養血処方、活血および鬱血解消の処方、止血処方を含む。
6.2.69	祛風劑; 治風劑	wind-dispelling formula	祛風劑	外部または内部の風邪を消失させる全ての処方。
6.2.69	祛風劑; 治風劑	wind-dispelling formula	治風劑	外部または内部の風邪を消失させる全ての処方。
6.2.70	祛寒劑; 溫裏劑	cold-dispelling formula	祛寒劑	内部を温める全ての処方。裏寒の治療に使われる。
6.2.70	祛寒劑; 溫裏劑	cold-dispelling formula	溫裏劑	内部を温める全ての処方。裏寒の治療に使われる。
6.2.71		warm-tonifying formula	溫補劑	溫補効果を有する全ての処方。寒虚証の治療に用いられる。
6.2.72	瀉下劑; 攻下劑	purgative formula	瀉下劑	下劑で構成される全ての処方。裏実証の治療において、便秘の緩和、熱の放出、蓄積物の除去、および滯留水の放出に用いられ
6.2.72	瀉下劑; 攻下劑	purgative formula	攻下劑	下劑で構成される全ての処方。裏実証の治療において、便秘の緩和、熱の放出、蓄積物の除去、および滯留水の放出に用いられ
6.2.73		cold purgative formula	寒下劑	性質は寒の、下劑の処方。熱の内部蓄積および鬱滞の治療に適用される。
6.2.74		warm purgative formula	溫下劑	下劑と併用して、腸を温め、寒を消散する薬剤を含む処方。裏実寒証の治療に用いられる。
6.2.75		lubricant laxative formula	潤下劑	給湿薬物および下劑を含む処方。腸液の不足による便秘の緩和に適用される。
6.2.76		exterior-releasing formula	解表劑	表証の治療のため、体表から病原体を除去するための処方。
6.2.77	清暑劑; 祛暑劑	summerheat-clearing formula	清暑劑	夏に生じる熱証を治療するために暑熱を除去する処方。
6.2.77	清暑劑; 祛暑劑	summerheat-clearing formula	祛暑劑	夏に生じる熱証を治療するために暑熱を除去する処方。
6.2.78		dampness-draining formula	利濕劑	濕邪を除く利水劑で構成される処方。過増殖性の濕邪の治療に用いられる。
6.2.79		dampness-dispelling	祛濕劑	濕邪を消退させ、水を除去し、有痛排尿困難を緩和し、濁りを排出する効果を有する全ての処方。濕邪による疾患の治療に用いられ
6.2.80		dryness-moistening	潤燥劑	給湿成分から構成される全ての処方。液体の欠乏症および乾燥状態の治療に用いられる。
6.2.81		dryness-treating formula	治燥劑	外因性または内因性の燥証を緩和する全ての処方。
6.2.82		heat-clearing formula	清熱劑	主として熱を除去する成分で構成される全ての処方。熱を除去し、火を排除し、血を冷却するために用いられる。または内熱証の治療において毒を中和する。
6.2.83		fire-draining/reducing formula	瀉火劑	劇的に熱を除去する処方または熱を除去する処方。同時に下劑の効果も有する。火証の治療に用いられる。
6.2.84	祛痰劑; 除痰劑	phlegm-dispelling	祛痰劑	痰を放出し消散させるために用いる全ての処方。
6.2.84	祛痰劑; 除痰劑	phlegm-dispelling	除痰劑	痰を放出し消散させるために用いる全ての処方。
6.2.85	消食劑; 消導劑	digestant formula	消食劑	痰を放出し消散させるために用いる全ての処方。
6.2.85	消食劑; 消導劑	digestant formula	消導劑	痰を放出し消散させるために用いる全ての処方。
6.2.86		orifice-opening formula	開竅劑	主として蘇生効果を有する芳香性の成分から構成される全ての処方。閉證における神昏の緊急治療に用いられる。
6.2.87		tranquillizing formula	安神劑	興奮を鎮めるまたは落ち着かせる処方。落ち着きのない精神の治療に用いられる。
6.2.88		securing and astringent	固澀劑	主として、気、血、精、および津液の消耗性の放出を止める収斂劑で構成される全ての処方。
6.2.89		tonifying and replenishing formula	補益劑	欠乏症において陽を強め、気を補充し、血に栄養を与え、陰を補充する全ての処方。
6.2.90		worm-expelling formula	驅蟲劑	寄生虫を駆逐する全ての処方。
6.2.91		worm-killing formula	殺蟲劑	寄生虫を殺す全ての処方。
6.2.92		vision-improving formula	明目劑	目の疾患の治療に使われる処方の一般的な用語。目を明るくする処方とも呼ばれる。
6.2.93		formula for treating abscess	癰瘍劑	外用薬で、瘡、膿瘍および潰瘍の治療に使われる処方の一般的な用語。
6.2.94		formula for menstruation and childbirth	經産劑	月経疾患、帯下の疾患、および産科の疾患の治療に使われる処方の一般的な用語。
6.2.95		emergency	救急劑	緊急の場合に使われる全ての処方。



WORLD HEALTH ORGANIZATION
Regional Office for the Western Pacific

CONTRACT FOR GRANTING TRANSLATION RIGHTS OF WHO PUBLICATIONS.

The World Health Organization, the Headquarters of which are situated in Geneva, Switzerland

and

Center for Kampo Medicine, Keio University School of Medicine with offices at
35 Shinanomachi, Shinjuku-ku, Tokyo 160-8582 Japan

(hereinafter called the "Publisher")

HEREBY AGREE AS FOLLOWS:

1. WHO hereby grants to the Publisher the non-exclusive license to translate and publish the following work in the Japanese language, during the whole term of the copyright:
2. The publisher shall print the following statement (in the language of the translation) prominently on the title-page (recto or verso) of the translated edition:

Published by the World Health Organization in 2007 under the title *WHO International standard terminologies on traditional medicine in the Western Pacific Region*

© World Health Organization 2007

The Director-General of the World Health Organization has granted translation rights for an edition in Japanese to Keio University School of Medicine which is solely responsible for the translation.

3. The edition should be a faithful translation of the whole work. If the translator or publisher should find it necessary to make any modification (abridgement, addition or deletion) to the text of the translated edition, such modification shall be clearly indicated. It shall not appear to be a part of the original text (different typeface, wider margin or other device) and a statement to this effect shall appear on the title page.
4. The name of the publisher shall appear on the cover and title page, instead of the name of the World Health Organization. The emblem, official seal and name of the World Health Organization are protected and cannot be used without permission being specifically requested and given.
5. On the cover, dust-jacket, or title page, and in the publisher's catalogue and announcements, nothing shall be printed which might give the impression that the translation has been prepared or published by the World Health Organization.
6. Unless the World Health Organization so requests, none of the announcements that are included in WHO publications - such as the description of the World Health Organization, announcements of other WHO publications, and the list of WHO sales agents - shall be included in the translated edition.
7. Series titles - e.g. Monograph Series; Technical Report Series - shall not be used on the cover and title-page of the translated edition, except where so specified in Article 2.
8. No commercial announcements or advertisements, other than those referring to publications, shall be included in the translated edition.

9. Prior to publication the publisher shall, if requested, send for approval to the Director, Knowledge Management and Sharing of the World Health Organization, Geneva, Switzerland, page-proofs of the title-page and any other preliminary matter, together with any text to be printed on the cover and/or dust-jacket.
10. In return for the grant of translation rights, the publisher shall give ten copies of the translated edition to the World Health Organization for distribution without charge. The publisher shall at his own expense post such copies direct to individual addresses furnished by the World Health Organization, or to the World Health Organization Regional Office for the Western Pacific, P. O. Box 2932, 1000 Manila, Philippines, in accordance with the instructions communicated by that office.
11. This contract shall not enter into force unless received by the World Health Organization, after being signed by a person duly authorized to bind the publisher, within three months of the date of signature by the responsible technical officer of the World Health Organization.
12. If the option to translate has not been taken up within one year of the date of signature of the contract by the publisher, the rights of translation into the language concerned shall revert to the World Health Organization.
13. Any other conditions, such as financial compensation to the World Health Organization, shall be agreed upon by the exchange of letters between the publisher and the World Health Organization.
14. Any matter relating to the application or interpretation of this contract which is not covered by its terms shall be resolved by reference to the law of Switzerland. Any dispute relating to the interpretation or application of this contract shall, unless amicably settled, be subject to conciliation. In the event of failure of the latter, the dispute shall be settled by arbitration. Arbitration shall be conducted in accordance with the modalities to be agreed between the Parties or, in the absence of agreement, with the rules of arbitration of the International Chamber of Commerce. The Parties shall accept the arbitral award as final.

PARTICULAR CONDITIONS IN RELATION TO TRANSLATION RIGHTS GRANTED BY THE WESTERN PACIFIC REGIONAL OFFICE (WPRO), WHO

In addition to accepting the general conditions stated on the preceding pages, recipients of rights to translate granted by WPRO are expected to:

1. Acknowledge receipt of a grant of translation rights and provide to WPRO the following information:
 - (a) who will translate it;
 - (b) when translation is expected to be completed;
 - (c) where the translation will be done;
 - (d) in what form the translation will be published; if the translation will be published in a periodical, it will be necessary to provide the name and address of the periodical and the probable date or number of the issue which is expected to carry the translation.
2. Publication of authorized complete translation in installments in a periodical of a public health association or that of another non-profit making organization is permissible. No royalties will be required even if the non-profit making organization places the publication on sale. Commercial publishers, however, will normally be expected to pay royalties.

We hereby declare that we accept the above conditions.

Signed by

KEIO UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE


Kenji Watanabe
 Director, Center for Kampo Medicine

Date: Oct. 3 '08

Signed on behalf of the

WORLD HEALTH ORGANIZATION


Charles Raby
 for the Director,
 Regional Office for the Western Pacific
 Date: 02 September 2008

